

潮音寺だより

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

第 299 号
平成 20 年 9 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856
E-Mail: choonji@aichi.email.ne.jp

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-10-11

自由自在



【出典】『祖堂集』九、羅山和尚等
煩惱の束縛から離れた解脱の境
地をいう。

《写真提供》葉山幸様

マリオネットの手足は操る糸で自在に動く
しかし生身の手足ではそつはいかぬ
それを不自由とだれが言おう
それでそれが自在
不自由という束縛からの解放が本当の自由自在

自由自在

私が子供の頃、確か『自由自在』という、小学生・中学生を対象とした学習参考書がありました。今でもあるのでしょうか。私は姉のお古を使っていたましたが、内容はずいぶんと難しかったように記憶しています。出版社の意図は、普段からレベルの高い問題に慣れ、こなしていくことによって、どんな難問にも「自由自在」に対応できるようになる、ということでありましょう。

今口使っている「自由」という言葉は、英語の「freedom」「liberty」の訳語として使っている場合が多いようです。日常会話の中でも使用頻度の高い言葉ですから、普段何気なく使っていますが、哲学、あるいは社会学・政治学の方面から

語るとなれば、なかなかどうして一筋縄でいく言葉ではありません。

元来、「自由」という言葉には「自由に由る」という語義から、何ものにも束縛されずに自主的に行動するなどの積極的な意味と、自分の思い通りにする、勝手気ままにふるまうなどの反価値的な意味の二通りの用法があります。仏教においても、二つの使われ方の用例が見えますが、もちろん、大切なのは前者の方であります。

ただ、初期の漢訳仏典では、「諸仏は法に於て最も自在なるを得」(『法華経』(信解品))、「不可思議の自在なる神通」(『維摩経』(法供養品))などのように、「自由」よりも「自在」の語の方が多く用いられています。「自由」もしくは「自由自在」の語が、煩惱の束縛から離れた

解脱の境地を説明する言葉として用いられるようになるのは、唐・宋の禅学文献からであります。

今回、この「自由自在」についてお話しさせていただくのは、「自分には、上から束縛されていて自由がない」といって苦悩している青年を知っているものですから、それに対する一つの回答として提示させていただこうと思ったからであります。それは、会社での人間関係や嫁姑の関係にも共通する問題でもあります。

我々は、他からの束縛を受けたくないと思っていますが、世の中は、自分以外はすべて他人、自分一人で生きているわけではありませんので、完全な自由にはなり得ません。二人以上いるところでは、何かの約束事があり、拘束を受ける

ことになります。国家、会社、学校、サークル、家庭といった組織には、それぞれに、名前にそ違いますが、法律・規範・約束事があります。しかし、それを行使する側とされる側によって、意識はまるで違いますし、束縛する、あるいはされる度合いの意識も、個人個人ずいぶん違うものです。

たとえば、「禁煙」ということに關していえば、個人の嗜好を奪つありえない束縛であると感じる人もいれば、一大人が守るべき当然の約束事として、ルールに沿つて喫煙を楽しもうとする人もいます。一方、喫煙者に対しては、毒ガスのサリンでもまき散らす犯罪人のような目で見える人もいれば、別に、全然気にしないという人もいます。そこで問題になるのが、束縛を

受けている、あるいは被害を被っていると感じている人たちです。日常生活の中でそのような意識を持ち続けていると、ストレスをため込むことになります。心を病む原因になりかねません。

仏教では、二つに禅において、心の「自由」とはどのようなものかの説明に、我々の「肘」にたとえることがあります。肘の動きは一方向で、反対には曲げようと思つても曲がりません。それは、事実として見れば不自由ですが、誰もそれを不自由とは思つてはいません。自分の腕は意のままに動き「自由」で「自在」であります。

マリオネットの手足は、ぶらぶらで、どちらの方向にも動き、自由自在に動きます。しかし、あくまで人形師の糸で操られる、自分の意志で

は動くことのできない不自由な身であります。

人間は、だれもが幼児期・少年期・青年期と、このような操り人形のようない時期を経て、独り立ちできる大人となっていくものですが、自身で自分をしっかりと支えるためには、一方向にしか動かない膝や肘の存在を知るべきでありましよう。それは不自由なのではなく、自由の証なのです。そして、自ら全部の糸を切るその時が来るまで、しっかりと力を蓄えねばなりません。

ところが、手足はぶらぶらにもかかわらず、自分が上手に歩けないのは、糸を操る者の所為で、その者がいるからだと思ひこんでいる人があります。依存心の強い人にありがちで、自由を求めつつ不自由を呼び込む愚痴の人であります。

沢庵

たくあん

禅寺では、朝昼晩、二度二度の食事に「沢庵」がつく。しかも、自分たちで漬けたものだ。最後の一切れで、食器をきれいにふき清めるというから、沢庵なしの生活はありえない。

さてこの沢庵、臨済宗の高僧沢庵が創始したという説があるが、これはあてにならない。それ以前から蓄え漬けと称するものが存在しており、沢庵和尚は、その普及に努めたために、その名が冠せられたという説のほうが有力だ。また一説には、この和尚を慕って数十回以上も寺を訪れた將軍家光がこの漬け物を好み、「沢庵漬けのほうがいい」とばかりに名をつけたという説もある。

この沢庵和尚、今や漬け物の歴史で名高いが、和歌や茶の湯にも通じ

た名僧侶の一人でもあった。現在

東京品川の東海寺には、漬け物石に似た彼の墓が残っており、参拝客がしばしば訪れる。たくわんと発音する人もいるが、たくあんが正しい。

『仏教のことは』早わかり事典

雑記

▼秋彼岸施餓鬼会

◎期日 9月23日(火)

◎時間 1時30分～2時30分

残暑お見舞い申し上げます。

お揃いで、どうぞ御参り下さい。

▼阿弥陀堂寄進

新たに次の方々からご応募いただきました。感謝申し上げます。

- ・角谷 徹様 三万円(三〇〇)
- ・荒谷政義様 一万円(一〇〇)
- ・荒谷文雄様 一万円(一〇〇)
- ・内田昇作様 一万円(一〇〇)



・山崎久夫様 一万円(一〇〇)

▼授戒会募集

・日時 平成21年5月2日(土)

～5月6日(水)の5日間

・場所 総本山禅林寺

詳しい募集要項がありますので、希望者はご請求いただき、お早めにご応募下さい。

《参加希望者》(8月18日現在)

・塩津和夫様 一名

▼北京五輪

喜びのメダル表彰後のインタビューで、選手の方々は、「多くの人に支えられて」「皆のお陰で」ということを□□にされています。確かにそうでしょうが、それが分かる人しか、頂点には立てないということでしょうね。

◆念仏のこゑ心地よし

処暑の朝 沐魚